

日本語教室新聞

(Funabashi Katsushika Elementary School Japanese Classroom Newsletter)

日本語教室担当 萩原 裕美

葛飾

※パンプキン (pumpkin : 英語) → 主に

観賞用・飼料用のオレンジ色のかぼちゃ

スクウォッシュ (squash : 英語) →

食用の緑色のかぼちゃ



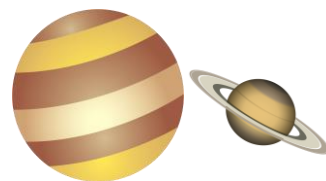
ふゆやすみ じゅうにがつ 1がつ ねまつねんし ひかくてきみじかいやすみ
冬休み = 12月～1月の年末年始にある比較的短い休み

しわす じゅうにがつ べつめい 「師走」～12月の別名～

早いもので、もう一年が終わろうとしています。12月といえば、「師走」と書き、師匠(先生)が走り回るほど忙しいといわれる月です。みなさんも、年末の大掃除やお正月の準備で、毎年忙しくしているのではないのでしょうか。

さて、今年の冬至は、12月21日(月)でした。冬至は、みなさんの住んでいる北半球で、昼間の太陽の高さが一年で一番低い位置になるために、昼の長さが最も短く、夜が長くなる日です。

そして、今年は、約400年ぶりの大接近を続けていた木星と土星が21日の夕方、最も近づいたそうです。南西の空に明るい木星とやや暗い土星が寄り添うように輝いていたのを見ることができましたか。



☆

この冬至の日を境に、寒さがより一層厳しくなります。日本では、昔から冬至の日には、かぼちゃやこんにゃくを食べたり、柚子をたくさん浮かべた柚子湯に入ったりしてきました。かぼちゃには、カロチンという栄養素が豊富に含まれているので、「冬至にかぼちゃを食べると風邪をひかない」といわれています。保存も利くので、野菜の収穫の少ない冬に栄養をとるのに良い野菜なのです。

また、柚子にはビタミンCやリモネンという成分が含まれているので、新陳代謝が活発になり、体も温まり風邪もひきにくくなると考えられています。中国では、冬至の日には餃子をいっぱい食べるそうです。昔の人たちの知恵も借りながら、冬の寒さを乗り切りましょう。

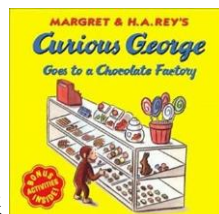


ワールド・ストーリー・テリング part2

本年度、第2回目のワールド・ストーリー・テリングは、12月10日(木)のお昼の放送で、人気シリーズ『おさるのジョージ チョコレート工場へいく』(M.&H.A. レイ原作：“Curious George Goes to a Chocolate Factory”)を英語と日本語で紹介



しました。今回は、アメリカの小学校で勉強したことのある、3年2組の荒川紗良さんが、原作の英文を読んでくれました。チョコレート工場にやってきたジョージは、工場の人たちが何をしているのか、知りたくてたまらなくなっています。中に入って、荒川さんも大好きなバナナ・クリーム入りのチョコレートを見つけて…。この続きは、ぜひ図書館で読んでください。日本語版も英語版もあります。



次回のワールド・ストーリー・テリングは1月14日(木)のお昼に放送予定です。お楽しみに！